

寺 報

龍正寺

日なた 209 号

縁

日
延



<令和 7 年 10 月>

宝 龍 会
護 持 会

宗祖日蓮大聖人第七四
遠忌

東歸法蓮樂天

御会式会報恩謝徳

宝雲山龍正寺

= 住 職 一 言 =

10月には宗祖日蓮大聖人第ク々々遠忌のお会式会です、皆様お題目を唱えて報恩感謝、謝徳いたしましょう。

日蓮大聖人御遺文「開目抄」

『鉄を熱に、いとうきためでれば、
きず隠れてみえず』

物事に一生懸命取り組めば“課題や障害がたかさん浮上して、前に進めなくなる時があります、その時、まず心得ておきたいのは「自分は完璧ではない」ということです必要以上に落ち込まず、ありのままに受け止めましょう、原料から鉄を作る時は高温で熱します、それないと不純物が取り除けず、良い鉄が出来ないので、これと同様に私たちも一生懸命物事に取り組むことで鍛えられ試練を乗り越えて味のある人間として成長していくことができるのです、完璧な人はいません、逆に言えば成長できる仲間がたくさんあるということなのです、一歩一歩ゆっくり進んでいけばいいのです。

（聖語カレンダー10月より書きいただきました）皆様聖語カレンダー講入し心の癒しにして下さい。

皆様の幸せを心からお祈り申し上げます

合掌

南無妙法蓮華経 拝

—— お彼岸の教え ——

朝晩はすっかり秋らしくなってきましたね！

先日、スーパーに行つた時のことです。駐車場は一杯で、入ってきた車が私も含めて3台いました。少し離れた第2駐車場に移動しようとする、ちょうど1台が空きました。私の前の車が空いた所に入ろうとバックに切りかえた時、ちょうど良いタイミングと方向から駐車場に入ってきた方が、すーとその場所に止められました。

数秒後、私の車の横が空いたので、止めようとする、さき止められながら、車が、強引に私の前にバックしてきて、その場所に入られました。

自分も同じことしてるよ… と思っていたが、私は第2駐車場に停めて、店内に入りました。

強引に停めた車には男女2人が乗っていて、自分達が止めようとした所に駐車した車にはおじいさんが乗っていました。

買物を終え、レジ待ちしていると、男女2人が1人のおじいさんを指さして、「あの人やん！」と言っているのが聞こえました。どこまで執着ぶの強い人だらなんだだろうと思いました。

おじいさんは、ちやうどいいタイミングで入ってきたので、その人が
停めようとしている事に気づく間もなからたように見えまして。
少し遠くに移動するだけなのに…と同時に、その日は
お彼岸明けの日、六波羅密の話を思い出しました。

お彼岸の7日間、六つの修行を実践することにより、悟りの
世界に向かえるという教えです。

- ① 布施 見返りを求めず与えること
- ② 持戒 戒めを守り、規則正しい生活を送ること
- ③ 忍辱 苦しみや困難に耐え忍ぶこと
- ④ 精進 努力を怠らず常に励むこと
- ⑤ 禅定 心を安定させ平静を保つこと
- ⑥ 智慧 真理を見極める 智慧を働かせること

お彼岸明けの日に、このような出来事に遭遇するのは
私にとっても何か意味のあることではなからたか…と思わ
されました。

お彼岸の7日間だけでなく、常にこのような心持ちで
いられる人になりたいですね!!

「禍福(かふく)はあざなえる
縄のいとし」

「幸運と不幸はより合わせた縄のように交互
にやってくる」

人間の幸福と不幸は表裏一体であり、人
の知恵では計り知れないという教訓を表わし
ています。

新聞を言っていて目にとまりました。

自分には何も起こらない平穏な毎日か
あると思って生きてきたことが、大人になり
人生の中で大きな変化(浮気・離婚)が
あった時に、なぜ、なぜ"と"思っていました
が、よく考えてみれば"原因"がある結果
必然であったと思います。

たぐりよせる糸のようにあたりまえに起
ることだったのかもしれませんが。

この言葉が人生における糸の導きというか

道理を得ているなと思ったからこそ、この言葉がバビに残ったのだと思います。

離婚という不幸ともとれる出来事ですが、たぐりよせる糸のイメージだと、1人で自由を楽しむ時間がもらえた事や1人で自由にお金が使える幸せを手にしたと思います。

自らが求めている人生でもあったので、幸、不幸は言えないなと思いました。

十月のお会式会では結縁の糸が準備されます。皆様との結縁を結ぶことができます。

糸のごとく信じ・尊う等の力をもって
強い縁をつなぎましょう。

御会式会に向って

今年も龍正寺の本堂は檀信徒の方々が手作りで奉納されたお花が鮮やかに咲き誇っています。

本堂中央には日蓮大聖人の指先から大角塔婆へ結縁の綱が渡り、御会式会は日蓮大聖人との結縁を深く深く結ぶ事が出来ます。

御会式で万灯供養をしよう!!と奉仕活動を元とする有志の会(宝龍会)で制作と始めてから、略21年ほどになります。ここ数年は寺院と共に、檀信徒の皆様と一緒に、お花作り、お花の奉納を中心とした飾り付けに変更になりました。

一人でも多くの檀信徒の方々の報恩のお花を、ひとつでも多く奉納させて頂き、「報いる恩に感謝しよう。」と御会式に向けて準備しています。

以前は報恩感謝よりも、今の倅世を願ひ、思いが達成する為のお参りが多かったのですが、今は日々の喜び、元気で働ける事、物価高、経済不況の中でも、飢える事なく生きていける事に感謝しています。

何か困った時、苦しい時も感謝を忘れる事なく、一心に御題目も唱えろと、変化の人が必ず現れて助けて頂けます。私はいつも「日蓮大聖人様が見て下さっている!!」と確心します。そのお陰様で日々安心して生活しています。この偉せ・喜びは子や孫へと継承していきたいと思っています。

10月13日 宗祖日蓮大聖人報恩式

各寺院でも前日より行事が開催されると思います。
参拝されてはいかがでしょうか。

龍正寺では 10月12日(日)

13時～唱題行

14時～宗祖日蓮大聖人佐渡報恩御会式会法要

皆様のご参加もお待ちしております。

猛暑もすぎ去り秋が訪れて参り
ました...大宇宙大自然の恩恵の創
がたさの中での秋の訪れでございます。あの
あつかった夏もうすれてゆくように思えます。

10月より又値よりラッジュ あれもこれもと
びっくりです。お買い物にでかけましても安気に
かい物もできずの様です。レジで又びっくり
致すのです。『今流行の億マンジョン買う人
お米もかえぬ人』川柳で読みました

この差の中での値よりにとまどってしまいます。どんな
時代になってゆくのでしょうか。年輩いたわたくし達が
思ってみてもと思ひますか。なんだか胸さわざも
致します。年輩いて参りました。今ですが

もう年だからいやになる...と吐くことは老いの
なさけ節。このなさけないむなしい言葉と言わない
様に言いきかせております。言はは神なりき。神は言はなりき

と学びました… 84段までたどり着けました
たどり着けました今に過去の花が咲く…
未来へのつぼみでいっぱいの若い方々…

その人 その人が 辿る人生の道の中にゆかに
ゆえすの夢い過去を思いを大に致したく
思ってみます。ゆたのし過去の花…それは
何よりの夢い法々経にご縁が頂けましたこと
です お釈迦さまが最後に説かれました
大学院の法々経を学ばせて頂きました…
ご法註のおかげさま そして又法友の方々よりの
会話よりも学びを頂いております

学びがなければ ぐち不足怒りで何事も
良きには 悟れずだと今思えます。

心ざも痛い痛いとはばかり思っているも良くはならず
と思ひまして この頃 漢方針と接骨院さんへと
通院を致しておりますがなんだか慌ただしく

ておかげでゆいこに疲れます。老いの身は
お医者さん通いはかりです。そんな中
この頃には思っていますことは、少しおしやれに
アロマテラピーです。変り映えのない老い
の身のくらしに、香りとか音楽をとり入れたら
少しは何かが変わるではと思っています...

香りの力は大きいそうです。脳に働きか
けて自律神経やホルモンのバランスを
整えてくれるそうです。ひざの痛みも少しは
軽減するようにも思ってみます。アロマグッズも
充実しているとかです。アロマの香りで84才の

おばあさんもワクワク感を味わい、良い香りに
酔ってみたいのです。なまけ節より少しばかり前向
きになれそうです。秋の彼岸供養も龍正寺
さんでお世話になりました。又10月はお会式かござい
ます。参拝もさせて頂けます所が、法々経にご縁が
頂きましたおかげさまでございます。南無妙法蓮華経
ありがとうございます。

合掌

< 10月 行事予定 >

10月 5日 (日)	9:00~	飾り付け
12日 (日)	13:00~	唱題行
	14:00~	宗祖日蓮大聖人 佐渡報恩御会式会
18日 (土)	10:00~	鬼子母尊神 七面大明神) 祈禱会

< 10月 住職の予定 >

寺院 = 法務

< 10月の予定 >

10月 1日 (水)	各々の時間で	清掃・準備
↓	↓	↓
5日 (日)	9:00~	飾り付け
6日 (月)	各々の時間で	清掃・準備
↓	↓	↓
11日 (土)	9:00~	飾り付け
12日 (日)	法要後	片付け・準備
13日 (月)	各々の時間で	清掃・準備
↓	↓	↓
17日 (金)		